



# 令和小だより

令和4年度3月号  
発行 令和5年3月1日  
中野区立令和小学校  
校長 松井 敏

## 「先輩との授業」という貴重な体験

校長 松井 敏

2月7日、6年生の社会科の授業に上高田小・新井小にかかわりのあるく小池博（こいけ ひろし）さんと高橋佐智子（たかはし さちこ）さんをお迎えして「戦時中の体験談」を伺う機会をいただきました。「70年前のお話をしてくださる先輩です。」とご紹介すると、「えーっ、それじゃ、大先輩じゃないですか。」という声が上がりました。そんな中、お二人にインタビュー形式で授業が始まりました。話題は「戦争・疎開」です。

- ・当時は小学校1年生だったこと。く小池さん（上高田国民学校）、高橋さん（新井国民学校）
- ・卒業の時は上高田小の同級生だったこと。
- ・第24回卒業生で、今も交流があること。
- ・明るさが制限され、夜は電灯に覆いをつけて、光が漏れないようにしていたこと。
- ・疎開には集団疎開く上高田小は福島県浪江町く縁故疎開があったこと。
- ・集団疎開に行く時は、お出かけのような気持ちで出発したこと。食べ物には苦労したこと。
- ・疎開先への親の訪問が大変うれしかったこと。

お二人の疎開先での生活、そして戦後のこの地域での生活のことをしっかりお話いただきました。そして最後には70年以上後の今を生きる現6年生、後輩へのメッセージもいただきました。70年以上も前のことを語るお二人の姿から、当時少年少女として過ごされた様子が目に浮かび、その心もちも感じる事ができたのではないかと思います。

この「先輩との授業」実現の陰には、様々な工夫があります。まずは、授業の実施を決める際に、お二人から「子どもたちに話の内容がよく伝わるように質問の形では…」と申し出がありました。社会科教科書を見ながらの担任との事

前打ち合わせの際には、たくさんの資料や写真もご用意いただき、話を進めていくうちに、教員のコーディネートによるインタビュー形式での授業が実現しました。

また、社会科の学習に位置付けた教材研究の賜物で、前身である上高田小学校新井小学校の校名の変遷、疎開先の様子や空襲での被害を受けたこの地域の様子が分かる写真も準備されました。準備段階から先輩と担任との協力した授業が進められているのです。

この授業の実現を支えている第一は、やはり通った学校に対して抱かれている先輩の強い思いや願いです。学校は閉校しているけれど、後輩である在校生のために・・・というお気持ちは本当にありがたいとたたかいたかいです。第二に、準備段階からこの先輩方の思いに触れ、よりよい授業にしようとする教職員の努力も大きいものがあります。

小池さんと高橋さんは、地域の活動でも大変お世話になっていらっしゃる方です。その方の思いに触れることができる「先輩との授業」という貴重な体験です。社会科の授業でもありますが、かわりを通して感じとったことは子どもたちの内面に必ずや響いていることと思います。それを自身の日常の生活にこそ、生かして欲しいと願っています。

## 2年生 生きものなかよし大作せん

生活科「生きものなかよし大作せん」の学習の一環として、「愛南ぎょしょくなかのマイスター」の長島さんを講師にお招きして、魚に親しみ、魚の絵を描く学習をしました。

はじめに、魚のふるさとである愛媛県愛南町の紹介やみんなにお魚を好きになってもらえるように「魚食マイスター」として活動していることを紹介いただきました。次に、長島さんが鯉の絵を描きながら、「魚のひれの名前」や「尾びれの形の種類」を教えてくださいました。その後、「タッチングタイム」をとり、実際に定置網でとれたダツや太刀魚、真鯛などの魚を触りながら、教えていただいたポイントを見比べました。「体が細長いね。」「尾びれが三日月形だ！」など、気付いたことをつぶやき合いながら、自分が絵を描く魚を決めました。子どもたちは自分が選んだ魚をよく観察して、集中して絵を描き上げることができました。

絵を描いた後、栄養士の竹ヶ原先生から、学習にちなんだ「コラボメニュー」として、愛南町の真鯛を使った「鯛ピザロール」にしたこと、給食を味わって食べてほしいことなど、食育の話も聞きました。鯛ピザロールを食べた後、「今まで食べた魚の中でいちばんおいしい。」「魚はあまり好きじゃないけれど、これは食べられたよ。」と様々な感想が出ました。いつも以上に感謝の気持ちをもって、おいしく給食をいただくことができました。

## 3年生 クラブ見学

4年生から始まるクラブ活動。2月13日（月）に3年生がクラブ見学を行いました。

令和小学校には、科学、卓上ゲーム、屋外スポーツ、屋内スポーツ、室内スポーツ、卓球、パソコン、マンガ・絵画、手芸、音楽（合奏）、鉄道、ビタゴラスイッチと12のクラブがあります。

6年生を中心に、上級生が楽しそうにクラブ活動をしている様子を実際に見て回りました。3年生は、教室に戻ると、「これ面白そうだな。」「このクラブに入りたいな！」などの話をし、来年度から始まるクラブ活動に向けて心躍らせていました。

今後、来年度のクラブ活動の希望を取り、4年生になってから正式に活動をスタートさせます。

## 4年生 社会科見学

4年生の社会科では、台東区浅草の特色ある町づくりや、自然災害が起きた際に誰がどのように活動・支援するのかを学習しました。2月16日（木）の社会科見学では、浅草寺周辺の見学と、お台場の「東京臨海広域防災公園」にある「そなエリア東京」で防災について体験学習を行いました。

浅草寺では、「雷門」や「浅草寺本堂」、「浅草神社」など歴史的建造物について事前に調べ、グループごとに浅草ツアーを行いました。建てられた由来や歴史、見どころを紹介しつつ、江戸の文化を取り入れた町並みを興味深そうに見ていました。

「そなエリア東京」では、地震後72時間をどう生き延びるかを学びました。地震が起きて建物が崩れた町の中を、タブレットに出されるクイズに答えながら進んだり、自分や家族を地震から守るための方法や対策についての展示を見たりしました。「自分の身に起きたら…」と想像しながら、体験することができました。

## 5年生 社会科見学

5年生の社会科では、日本の産業や国土について学びます。今回の社会科見学では、工業の学習として「明治なるほどファクトリー坂戸」（埼玉県坂戸市）と環境の学習と「三富今昔村」（埼玉県三芳町）の見学を行いました。「明治なるほどファクトリー坂戸」では、チョコレート菓子の製造工程を見学しました。原料がどこから運ばれているのか、どんな工夫がされて製品が作られているのか、どのように出荷されているのかについて学びました。「三富今昔村」では、リサイクル工場と里山見学をしました。里山の環境を守るためにはどんな取り組みをすればよいのか、また廃棄物をリサイクルするためにはどのような処理をしなければならないのかを学びました。実際に見学することで、授業で学んだことを実感をもって理解することができました。

## 3月の生活指導 生活指導部

### 今月の目標「生活のまとめをしよう」

3月になりました。進級・卒業を前に様々な「振り返り」を行う機会も増えると思います。この1年間で、自分ができるようになったことやこれからも努力していかなければならないことを整理することが大切です。できることをさらに伸ばしていけるような声をかけていただければと思います。

今年度は新校舎へ移転し、人工芝の広い校庭でおもいきり遊ぶ機会が増えました。児童同士の交流や体力向上につながりました。また、多くの地域の方やゲストティーチャーをお招きし、体験的な活動が多くできました。たくさんの人と関わり、それぞれが力を伸ばす1年間となったのではないかと思います。

一方で、元気で自発的なあいさつと交通安全への意識は、来年度への課題です。とくに、自発的なあいさつは、ここ数年重点的に指導をしています。4年生から6年生の子どもたちによるあいさつ運動や学級担任の指導もあり、その場ではあいさつをするのですが、時間が経つと元気よくあいさつができなくなってしまう印象があります。「気持ち良いあいさつが交わされる令和小」を目指して、次年度以降も様々な指導を続けてまいります。ご家庭でもすすんであいさつができるように声をかけあっていただければと思います。交通安全についても、いけないことだとわかっている、ついついきまりを守れないことがあります。どうしてきまりがあるのか考え、安全に過ごせるよう指導をしていきたいと思っています。

子どもたちが健康に、安全に学校生活を送るため、保護者の皆様には様々な面でご協力いただき、ありがとうございました。

日	曜	3月 行事予定
1	水	安全指導日 卒業式練習始
2	木	児童集会 保護者会（3・4・5年）水曜時程
3	金	保護者会（1・2年・こ）水曜時程
4	土	
5	日	
6	月	卒業式式場準備（5年）
7	火	音楽集会 こだま3組校外学習
8	水	児童集会 避難訓練⑪（集団下校）
9	木	
10	金	
11	土	
12	日	
13	月	
14	火	
15	水	
16	木	
17	金	
18	土	
19	日	
20	月	卒業式練習（リハーサル）
21	火	春分の日
22	水	給食終
23	木	卒業式
24	金	修了式
25	土	春季休業日始
26	日	
27	月	
28	火	
29	水	
30	木	
31	金	

※区の連絡等により、変更する場合があります。

## 地域や学校のことを考える学習 ～ネーミング募集中～

今年度「地域の風の行き交う学校～わたしたちの令和小学校」を掲げ、「地域や学校のことを考える学習」を大切にしてきました。各学年の取組には次のようなものがあります。こだま学級は日赤中野奉仕団とのポッチャ交流、1年生は下校見守りの民生児童委員さんへの絵のメッセージ、2年生は学区域全域での「町たんけん」、3年生は中野区ラグビーフットボール協会による「タグラグビー導入でのラグビー体験」、4年生は中野区在住のブラインドランナーとの視覚障害の体験、5年生は（仮称）愛南ぎよしよくなかのマイスターとの社会科水産業の学習、6年生は中野区新井にある法人会との協力による租税教室等です。今後も中野区在住の男子レスリング現世界チャンピオンとの学習（6年）や本校学区域在住のパラクライミング現日本代表とのクライミング体験（キリンレモンスポーツセンター）（5年）を予定しています。心おどります。この「地域や学校のことを考える学習」のネーミングを募集しています。よいアイデアがありましたら学校までご連絡下さい。